

地域の中核病院として
地域医療の新しい取り組みを
目指します

国保水俣市立 総合医療センター

Minamata City
General Hospital & Medical Center





「西南九州医療圏構想」 ～人口減少社会の中で地域医療を維持していくために～

病院事業管理者 坂本 不出夫

当センターは、昭和28年水俣市立病院として開設以来、この医療圏域の急性期中核病院として医療の質向上・充実に努めてきました。

平成10年代の「地域医療崩壊」といわれた苦難の時期を乗り越え、現在50名を超える常勤医が在籍する県下地方都市有数の病院と機能評価を受けるまで成長することができました。この間の改革及び実績が評価され平成26年には全国自治体病院協議会会長表彰、そして平成27年には総務大臣表彰を受けたところです。

さて、少子高齢化、人口減少社会到来の中、国の医療政策として団塊の世代が後期高齢者となる2025年の当該地域の人口動態・医療需要予測に基づく医療機能の適正化を図る目的で「地域医療構想」の策定が進められています。

私たちは“24時間体制の救急医療を維持・存続させる”という使命を持って頑張ってきました。今回その役割を更に明確化するために、この圏域になかった高度急性期病棟（HCU）を地域協議会の同意の下、稼働することができました。

二次救急までは地域で完結できる体制が整うとともに、「地域包括ケア体制構築」の一員として急性期医療を担い、入・退院支援、緊急入院のためのベッド確保、多職種連携強化等に努めてまいります。

救急医療には一定規模の病院機能と症例がなければ存続はできません。

私は、かねて「医療に県境なし」をキーワードに、同じ生活圏域と位置付ける北薩圏域との県境を越えた医療連携を訴えてきました。各地区医師会をはじめ関係機関のご理解も進み、実績を積み重ねてきたところですが、医療機能を補い合うための「病・病連携」「病診連携」「関連機関連携」が今後益々重要になってきます。

人口減少が急速に進んでいる当該地域で、県境を境に双方向へ医療機能が引きはがされることがないように、見えない県境という垣根を取り払い、安心して暮らせる社会づくりの一員として、その役割を果たしていきたいと考えていますので、皆様方にもご理解とご支援をいただけますようお願いいたします。



患者さんに信頼され選ばれる病院を目指して

院長 阿部 道雄

当センターは熊本県の南端水俣市に位置し、水俣芦北医療圏のみならず鹿児島県北薩地域の患者さんに対して急性期医療を提供する中核病院です。

24時間の救急体制を取れる急性期病院機能を維持充実していくために診療環境の改善や、低被曝CT、ワイドボアMRI、3テスラMRI、高画質の血管撮影装置を始めとする最新の医療機器の導入整備が行われました。特に令和元年よりHCU10床が稼働し高度急性期病床機能が充実しました。またハードのみでなく安全対策、感染管理といったソフト面でも整備が行われています。そのため各種学会の認定施設、関連施設といった専門医制度に対応

した施設基準が整い、特に、基幹型臨床研修病院の指定を受け地域に貢献できる研修医を育成しています。これらの施設基準を維持するために病院は常に進化を続ける必要があります。

今後も24時間の救急体制を取れる急性期病院機能を維持させ、断らない医療体制を維持するために止まらず進化することが重要と考えています。当センターの基本理念は「患者中心の医療」、「安全で高度な医療」、「地域との連携」、「環境保全」、「健全経営」であります。

これらの理念を実践し、患者さんに信頼され選ばれる病院を目指しています。

仁 愛

国保水俣市立総合医療センターは地域住民の皆さまに
「信頼され、期待され、選ばれる」
病院となるために以下のことに専念します



事業開設年月日	昭和28年9月1日
開設者	水俣市長
名誉院長	北野邦俊
病院事業管理者	坂本不出夫
院長	阿部道雄
所在地	〒867-0041 熊本県水俣市天神町1丁目2番1号 TEL 0966-63-2101 (代表) / FAX 0966-63-1393 E-mail minamata-sic01@ar.wakwak.com URL http://minamata-hp.jp
病床数	361床（一般病床357床・感染症病床4床）※うち人間ドック3床 全18科（呼吸器内科、循環器内科、代謝内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、消化器内科、放射線科、脳神経外科、脳神経内科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科口腔外科）
標榜診療科	
関係施設 指定等	附属健康管理センター・附属久木野診療所（へき地診療所）・院内保育所「むつみ」 保険医療機関、健康保険病院、社会保険病院、船員保険病院、国民健康保険病院、労災保険病院、労災保険二次健診等給付病院、更正医療指定病院、生活保護指定病院、結核予防法指定病院、育成医療指定病院、公害医療機関、原子爆弾被爆者医療指定病院、原子力爆弾被害者一般疾病医療取扱病院、第二種感染症指定医療機関、救急告示病院、病院群輪番制病院、災害拠点病院、熊本DMAT指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、臨床研修指定病院（基幹型）、臨床研修指定病院（協力型：熊本大学病院）、熊本県指定がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、難病指定医療機関、指定小児慢性特定疾病医療機関

院内のご案内



病院本館(東館)

西館

リハビリ館

リハビリ館	連絡通路	東6病棟 (循環器内科、代謝内科、消化器内科 歯科口腔外科) 理容室、コインランドリー	連絡通路	講義室 第一会議室、第二会議室、第三会議室 栄養科(栄養指導室)	6F
		東5病棟 (整形外科) 管理部門、第一会議室、第二会議室		西5病棟 (呼吸器内科、皮膚科 泌尿器科)	5F
		東4病棟 (脳神経外科、脳神経内科、外科) 手術センター		西4病棟 (地域包括ケア病棟)	4F
		HCU、健康管理センター(人間ドック) 透析センター、臨床工学科 高気圧酸素室		西3病棟 (小児科、産婦人科、眼科)	3F
		眼科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻いんこう科 産婦人科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線科 (CT室、MRI室、X線室、心血管造影室) 臨床検査科(生理検査室、脳波室、超音波検査室) 医療安全対策室、感染制御室、売店、浜分校		医局 中央処置室 臨床検査科 (検体検査室、細菌検査室、病理検査室)	2F
		外科、整形外科、脳神経センター、呼吸器内科 小児科、循環器内科、代謝内科、薬剤科 体外衝撃波結石破砕装置室、MEGセンター 診療支援課 (総合案内、会計、医療相談、がん相談支援センター)		救急外来 外来化学療法センター 防災センター室	1F

高度医療機器

救急医療から高度先進医療まで
完全対応できる診断機器をそろえています



128スライスCT装置

多様化する検査への対応、被ばくの低減、検査時間の短縮といった新世代のマルチスライスCT装置です。



1.5TMRI装置

患者さまが楽な姿勢でこれまでにない快適さと容易さでMRI検査の可能性を大きく上げます。



IVR-CT/Angioシステム

治療手技に多大な支援をもたらし、さまざまなインターベンションに対応するIVR専門システムです。



SPECT装置

RI(ラジオアイソトープ)を用い全身検査を行い、病気の有無や病態の把握の為に診断が行えます。



高気圧酸素治療装置

血液中に多量に酸素を溶解させ、突発性難聴、腸閉塞(イレウス)、脳梗塞、火傷などの症状を改善します。



体外衝撃波結石破砕装置(ESWL)

音波の一種の衝撃波を体外から結石に向け照射、筋肉や他の臓器を傷つけずに結石だけを破砕させる装置です。

入院設備

患者さまの病態に合わせた
きめ細やかなケアを提供しています

高度急性期病棟 (HCU)



HCU
(令和元年6月稼働開始)

急性期病棟 (東4・東5・東6・西3・西5)



地域包括ケア病棟 (西4)



回復期リハビリテーション病棟 (リハ3)

平成29年9月に地域包括ケア病棟、令和元年6月にHCUを開設し、医療機能の一層の充実を図りました。高度急性期から回復期まで、患者さまの病態に合わせたきめ細やかな医療・ケアを提供し、地域住民の安心・安全な生活に貢献しています。

地域の中核病院として、急性期医療を中心に 高度で安全な医療を提供しています



呼吸器内科

喘息をはじめとするアレルギー疾患、間質性肺疾患を主体とするびまん性肺疾患、肺炎などの感染症、肺炎腫などによる慢性呼吸不全、肺がんなど広汎な分野に対応しています。肺がん、肺炎など頻度の高い疾患や治療が難しい間質性肺炎、難治性喘息に対して最新のエビデンスに基づいた治療に取り組んでいます。



循環器内科

虚血性心臓病(狭心症、心筋梗塞)、不整脈、末梢動脈疾患(閉塞性動脈硬化症など)、心不全、高血圧症など広範囲に渡り診療を行っています。虚血性心臓病には、心臓カテーテル検査、PCIを、徐脈性不整脈には、ペースメーカー移植術を行っています。熊本大学医学部循環器内科の関連施設となっています。



代謝内科(糖尿病内分泌センター)

糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病、甲状腺疾患をはじめとした内分泌疾患などを専門に診療を行っています。特に糖尿病では、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、歯科によるチーム医療により、糖尿病患者さまの合併症予防に取り組んでいます。



眼科

人間は外界の情報の約8割を「眼」から得ていると言われます。この「眼」に障害をきたす病気の予防、診断を行っています。白内障手術や翼状片手術もを行っています。



耳鼻いんこう科

非常勤医師による診療を行っているため、入院治療手術が必要な患者さまは適切な病院へ紹介します。耳の聞こえ、声がかすれる、めまい、アレルギー性鼻炎、中耳炎、甲状腺の腫れなど気になる症状がありましたら初診でも予約可能ですので、お電話ください。



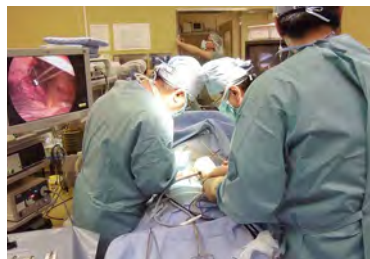
消化器内科(消化器センター)

食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆のう・膵臓に関する疾患の診断、治療を担当しています。食道静脈瘤、食道、胃、大腸の早期癌、総胆管結石、閉塞性黄疸などの疾患は積極的に内視鏡治療を行っています。癌の治療は外科や放射線科の医師と相談しながら最適な治療を選択します。



小児科

入院児は呼吸器疾患が中心ですが、基礎疾患のある児の長期入院にも対応しています。外来は、午前是一般外来、午後は予約制で慢性疾患のフォローアップや1か月検診、予防接種などを行っています。新生児については、熊本県周産期ネットワークの地域施設となっています。



外科

消化器疾患、乳腺甲状腺疾患、ヘルニア、呼吸器疾患、血管疾患など広範囲にわたって診療を行っています。主に手術が中心ですが抗がん剤治療も行っています。良性疾患や早期癌には傷が小さく侵襲の少ない鏡視下手術も積極的に行っています。



整形外科

一般外傷、小児整形、スポーツ整形、変性疾患(関節、脊椎)、手の外科など幅広く診療を行っています。その中でも特に一般外傷、関節外科、手の外科では、高度で安全な手術を提供できるよう努めています。



放射線科

放射線科は一般撮影(レントゲン検査)やCT(X線を使った検査)、MRI(磁気を使った検査)、PET(放射性物質を使った検査)などの画像診断を行うところです。また、肝細胞癌や膀胱癌、舌癌のカテーテル治療や外傷に伴う出血の止血など血管内治療を行っています。



脳神経外科(脳神経センター)

脳神経外科では脳卒中(脳出血、くも膜下出血)や頭部外傷、脳腫瘍、正常圧水頭症、三叉神経痛、顔面けいれんなどを主に診療しています。救急疾患が多い疾患領域ですので脳神経外科専門医2名で24時間対応できる体制をとっています。



脳神経内科(脳神経センター)

脳血管障害(一過性脳虚血発作、脳梗塞)のほか、中枢神経感染症、自己免疫性脳症、神経変性疾患、てんかん、末梢神経疾患も入院し、他医療機関から数多く紹介を受けています。回復期リハビリテーション病棟へのシームレスなリハビリテーションを行っています。



産婦人科

産科では、通常の分娩から既往帝王切開、双胎妊娠等の異常妊娠まで対応しています。特に既往帝王切開の場合には予定帝王切開の方針で臨みます。婦人科では、腫瘍、感染症、性器脱等を扱いその他更年期障害や骨粗しょう症予防の相談等も行っています。



皮膚科

湿疹やじん麻疹などといった日常的な疾患から入院、手術を要する疾患まで幅広く診療を行っています。開業の先生方や大学病院と連携をとりながら病気の治療を行いますので、お困りのことがありましたら遠慮なくご相談ください。



泌尿器科

おもに尿路(腎・尿管・膀胱・尿道)、男性性器(陰茎・陰のう・こう丸・前立腺)、後腹膜腔疾患を扱っており、腎機能障害が進行した場合はシャント造設、血液透析導入まで行っています。また、尿路結石に対しては、ESWL(対外衝撃波結石破砕術)による破砕治療が可能です。



人工透析センター

厳密な水質管理のもと、慢性腎不全の方の血液透析やOn-lineHDFを41床、3クール(午前・午後・夜間)で行っています。約85名の外来維持透析の他、他院からの入院加療やビジター患者様の透析、G-CAP(顆粒球吸着療法)などの特殊血液浄化も行っています。



リハビリテーション科

非常勤医師による診療を行っています。また、毎週金曜日には、筋肉のつっぱり(痙攣)に対するボツリヌス療法を行っています。身体機能の維持・改善、日常生活動作や移動能力、コミュニケーションや摂食嚥下機能などに不安を抱えていらっしゃる方は当科へご相談ください。

麻酔科

患者さまが安心して手術を受けられるよう、手術担当医と良好なコミュニケーションをとりながら、安全、安楽できめの細かい麻酔を提供すべく日々努力しています。週一日はペインクリニック外来を開設して痛みの治療を行っています。



歯科口腔外科

熊本県南地区・鹿児島北薩地区の唯一の病院歯科口腔外科として、病診連携を中心に顎顔面口腔外科疾患はもとより、有病者・障害者(児)歯科医療を専門として行っています。また、入院患者さまの口腔ケアにも力を入れています。

医師とともに患者さまを支える活躍をしています



看護部

思いやりと優しさをモットーに24時間365日患者さまに寄り添った看護を提供しています。医療の進歩や安全文化醸成のために必要な知識および技術の向上に努め、専門職として外来から入院まで安心・安楽な看護を実践しています。



薬剤科

一般病棟に専任の薬剤師を配置して薬剤管理指導業務を行っています。服薬指導や相互作用のチェック、副作用の早期発見、処方提案、TPN調製、抗がん剤調製やレジメン管理、全入院患者さまの持参薬鑑別と手術前中止薬の有無の確認、糖尿病教室での患者指導等、薬物療法支援を行っています。



臨床検査科

採取された血液や尿、細胞などを用いる検体検査と、心電図や脳波、超音波など患者さまに触れて検査する生理検査があります。病気の予防や診断、治療方針や経過観察など、様々な場面に検査は役立っています。臨床検査技師は、正確かつ迅速な検査結果報告を心がけ、知識と技術の向上のため専門分野の資格取得に努めています。



救急センター

救急指定病院として、救急車等で来院される急病やけがの診療を行っています。救急看護認定看護師のほか災害派遣を経験したスタッフが配置されており、各科の医師や他部門のスタッフと協働して生命危機の患者さんの救命や苦痛の緩和のため、安全で高度な医療に努めています。



手術センター・中央器材室

外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、産婦人科、歯科口腔外科の手術に対応しています。手術前に患者さまを訪問し、医師とも情報共有を密にして安心かつ安全な麻酔と手術をサポートしています。中央器材室では滅菌業務の精度向上と安定した器材供給に日々努めています。



外来化学療法センター

通院でがん化学療法を行える場所で生活リズムを変えずにご家族と共に慣れた自宅で生活が続けられます。当センターは10床を有し、各診療科より年間約1400件の治療を行っています。治療による様々な副作用や問題に対応し、患者さまの生活の質が維持できるよう、副作用対策や情報提供に努め、医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーが連携し支援しています。



放射線技術科

診療放射線技師は、各科からの画像検査依頼に対し画像診断機器を駆使し、病変の早期発見、早期治療に役立つ画像情報を提供します。診断価値の高い画像情報を迅速に提供できるよう、日々「撮影技術」「読影力」向上に努めています。



画像診断センター

熊本県南、北薩地域の中核病院として、救急医療から高度先進医療まで完全対応できる画像診断機器を揃えており、地域医療支援病院として、高額医療機器の共同利用を推進しています。地域の医療機関からの画像診断依頼を随時受付けており、放射線科と連携を取りながら当日検査から診断結果まで即日対応を行っています。



リハビリテーション技術科

リハビリテーション技術科は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3職種、30名のスタッフで、HCU(高度治療室)、急性期病棟、地域包括ケア病棟の各機能に応じたリハビリテーションを提供し、機能回復、移動、身の回り動作、コミュニケーション等の再建を支援しています。



地域医療支援室 (がん相談支援センター・治療と仕事の両立支援室・入院支援センター)

患者さまやご家族の療養に関する相談(がんに関する相談/疾病による心理・社会・経済的な問題の相談および就労支援/公費医療制度の案内や手続の説明/入院時の説明・相談)等に専門ソーシャルワーカー・看護師が対応しています。また、関係医療機関や介護保険事業所等との連携の推進に積極的に取り組んでいます。



診療情報管理室

入院・外来カルテの整理・保管や入院診療費の精査、病歴登録、院内がん登録などデータの提出を行っています。また、年に一度、院内の諸統計を各医療機関や施設に配布し、医療センターの診療実績や各部署・各委員会などの情報公開を行っています。



医事係(総合案内・受付・会計)

医事係は、来院された方が最初に目にするところでもありますので、笑顔で親切丁寧な対応を心がけています。窓口では診療の受付、手続き、会計、各種書類の受付等を担当し、患者さまからの問い合わせも承っています。診療費を正しくご負担いただくために、毎月初めての受診時の際には窓口で保険証、受給者証等の提示をお願いします。



臨床工学科

医学と工学の知識を生かし生命維持管理装置等の操作および保守をおもに行っています。医療機器管理、透析(血液浄化)、心臓カテーテル検査・治療、心臓ペースメーカー、手術室、高気圧酸素治療、人工脾臓などの業務に従事しています。



栄養科

患者さまの栄養状態を確認し、入院中の食事、栄養管理を行っています。外来では、糖尿病内分泌センターを中心に栄養食事指導を行っています。また、毎月の糖尿病患者会料理教室、減塩・腎臓病料理教室、市民を対象にした肝臓病教室や糖尿病週間行事などの健康教室を開催しています。



感染制御室

病院全体の感染制御を担う部署で、院内感染の予防や職員教育を中心に活動を行っています。感染発生時には速やかに対応できる体制を整え、医療現場において積極的に取り組んでいます。また、熊本県内の施設と連携し、最新の知見や情報交換を行い、院内感染対策の見直し・改善も行っています。



医療安全対策室

医療安全対策室では、患者さんが安心して安全な医療を受けられる病院環境を整えることを目的に、医療安全の推進に取り組んでいます。医療を提供する個人の責任に頼るだけでなく、組織としてシステムとして、安全な医療・看護を提供できるように努めています。



健康管理センター

病院併設型の健診機関で、平成29年に熊本県で4番目の人間ドック健診施設機能評価施設に認定されました。人間ドックや生活習慣病予防健診など各種健診業務を行いながら各診療科との連携を図り、早期対応が必要な方には迅速に対応しています。健康診断を通して皆様の疾病の予防と早期発見、健康の保持増進に努めています。



附属久木野診療所

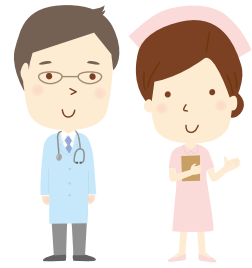
昭和31年9月、旧久木野村との合併に伴い当院の附属診療所として、水俣市東部の山間部に設置されました。へき地医療及び地域住民の健康管理に努めています。



院内保育所「むつみ」

アレルギー対応食の提供、延長保育、一時保育等で、当院に勤務する職員の育児支援を行っています。

チーム医療



「チーム医療」は 仕事も仲間の輪も広がります

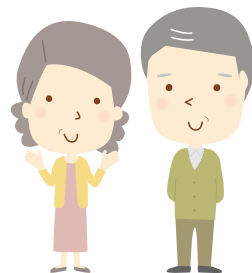
栄養サポートチーム (NST)

栄養状態が悪いとどれだけ治療してもなかなか回復できません。また、手術後に感染症や合併症を引き起こしてしまうこともあります。このような問題を解決するために、多職種の医療スタッフで構成されたチームが栄養面でのサポートを行っています。



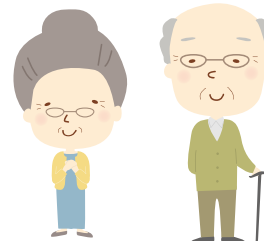
呼吸サポートチーム (RST)

人工呼吸器をつけている患者さまに対して、栄養管理や薬剤などの適切な使用、リハビリテーションなどにより、早期に人工呼吸器の補助なしで呼吸ができるようになるようチームが協力してサポートを行っています。



緩和ケアチーム (PCT)

がんの患者さまに対して、治療の全過程を通して認められる身体や心のさまざまな苦痛を和らげるため、患者さまお一人お一人が症状をコントロールしながら、ご自分の生活に合わせた治療を選択し、ご自身らしく生きるためのお手伝いをしています。



褥瘡対策チーム

患者さまの褥瘡(床ずれ)を予防し、きれいなお体で退院していただくため、入院時のリスク評価、体位変更の実践、適切な耐圧分散寝具の選択など、患者さまに合わせたケアを実施するためのチームです。



感染対策チーム (ICT)

病院内では、様々な病気をもった患者さまが入院され、外来受診や面会者などたくさんの人の出入りがあります。そのような中で感染を未然にチェックする、感染を広げない、迅速な対応で流行を防ぐなどの活動を行っています。

医療安全チーム

患者さまに対して、安心で安全な医療を提供するために、各診療技術部及び看護部に医療安全管理者を配置し、部署間の垣根を無くし、多岐にわたるリスクに対応し事故を未然に防止できるように活動を行っています。

糖尿病医療チーム

糖尿病を持つ患者さまに対して、血糖値を良好に保ち合併症を予防するために、患者さまの生活に応じて食事や運動、内服薬や注射薬の管理、フットケアについて、多職種が連携してサポートを行っています。

認知症・せん妄ケアチーム

入院中は慣れない環境や治療、身体の病気の影響で、認知症の症状が悪化したり、意識の混乱を呈するせん妄を引き起こすことがあります。認知症、せん妄から生じる辛い症状を改善し、その人らしく穏やかに過ごせるように、最善のケアを検討していきます。

当院・地域 イベント

季節の行事やイベントに参加して地域の皆さまとの交流をはかります。イベントを通して健康や医療に興味を持っていただきます。また、スタッフ同士の交流の機会にもなり、チーム医療の連携にも役立ちます。

3月



市民駅伝大会

5月



看護週間

6月



地域医療連携懇話会

7月



恋龍祭

8月



競り舟大会

9月



ビーチボールバレー大会



院内学会

11月



医療安全週間

12月



糖尿病週間



クリスマスのタベ

年2回



院長と語ろう



病院へのアクセス

🚗 南九州西回り自動車道 水俣ICから車で約5分
新水俣駅から車で約5分
水俣駅から車で約5分

🚌 みなくるバス（水俣市コミュニティバス）
「総合医療センター」 徒歩0分
「総合医療センター裏」 徒歩0分
九州産交バス
「総合医療センター前」 徒歩1分
「日新町」 徒歩3分

初めて受診される方

かかりつけ医をお持ちの方は、紹介状をご持参のうえ、
本館1階総合案内までお越しください。



国保水俣市立総合医療センター

MINAMATA CITY GENERAL HOSPITAL & MEDICAL CENTER

〒867-0041 熊本県水俣市天神町1丁目2番1号

TEL 0966-63-2101 FAX 0966-63-1393

受付時間／ 8:00～11:00／

13:30～15:00（午後診療科のみ【要予約】）

面会時間／HCU 8:00～9:00／12:00～13:00／18:00～19:00

HCU以外 11:00～13:00／15:00～20:00

休診日／土曜日、日曜日、祝日、年末年始

※救急の場合は、この限りではありません。



<http://minamata-hp.jp/>



日本医療機能評価機構 認定第GB397号

当院は、日本医療機能評価機構の評価基準を
クリアした認定病院です。